

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



平成二十六年
十一月
環境省大気
環境局より
表彰状授与

「永遠の化学物質」による
汚染と被害は、
あまりに身近すぎた。

5 社説・発言 10版 2023年(令和5年)7月13日(木曜日)

社説

PFAS漏出

米軍横田基地(東京都)写真、本社へ「おさつる」からで、発がん性が指摘される有機フッ素化合物(PFAS)を含む泡消火剤の漏出が二〇一〇―二二年に三回起きていたことを米軍が認めた。防衛省が米軍から事実を確認して、都に先月伝えたが、あまりに遅すぎる。周辺住民の健康懸念も甚だしい。詳細を明らかにするよう、米軍に求める。

PFASは、がんや子どもの発育阻害など関連が指摘された。横田基地は早くから汚染源として疑われてきた。航空機事故用の泡消火剤が、訓練などで大量に使われるからだ。英国人ジャーナリストが一八年、米政府の情報公開文書を基に漏出を報道。本紙も米軍に確認を求めた。にもかわらず、米軍は公表を避け続けてきた。「隠蔽」と言われるを得ず、到底許されない。漏出の詳細は今も不明だ。どれほどの量が、どのように漏れたのか。土壌汚染の拡散防止策は取ったのか。米軍は基地外への流出を否定しているが、情報がない中で納得する任「臭い物にふた」ではなく、住民の側に立つて対応することが行政の役割ではないのか。

2023.7.13

米軍に説明を求める



中部の未来創造大賞奨励賞
授与される。



平成二十六年
八月
国公文
頒布あり
感謝状
を授与
さる。